

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	情報学科						
科目名	確率論						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	“必修科目(ネットワークコース) 選択科目(ソフトウェアコース)”						
担当者	石橋 睦 Makoto ISHIBASHI						
授業の到達目標(シラバスから)	ランダムな現象を数学的に取り扱うための枠組みとしての確率論は、各種分野の様々な問題を解決するための有効な道具を提供している。ここでは確率論における基本的な考え方を理解させ、統計学への理論的な準備をし、具体例を通して数値の取り扱いを学ぶ。						
日程と内容	<p>“4/8第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、評価の仕方の説明。  4/15第2回：集合論と標本空間-集合論における基本的な用語や演算を復習し、事象について述べる。  4/22第3回：確率の公理-考え得る全ての結果の中で条件を満たす結果の割合として確率を定義する。  4/25第4回：順列組み合わせ-重複を許す場合と許さない場合について順列と組み合わせを計算する。  5/13第5回：条件付確率、ベイズの定理-条件付確率について解説し、応用例を考察する。  5/20第6回：事象の独立性-多くの事例で観察されまたは仮定される事象の独立性について述べる。  5/27第7回：確率変数-主要な概念である確率変数につき、離散型の場合と連続型の場合を考える。  6/3第8回：確率分布-確率変数に関連し、確率密度関数や分布関数を考察し、具体例を計算する。  6/10第9回：多次元確率変数-複数の確率変数を同時に観察し、その処理について考察する。  6/17第10回：確率変数の演算-確率変数間の基本的演算により得られる新確率変数を考察する。  6/24第11回：確率分布のモーメント-確率分布の平均値、分散、標準偏差などについて考察する。  7/1第12回：離散型特殊分布-典型的な離散型分布である2項分布とポアソン分布について解説する。  7/8第13回：連続型特殊分布-典型的な連続型分布である正規分布について解説する。  7/15第14回：大数の法則、チェビシェフの不等式について述べる。  7/22第15回：中心極限定理について述べる。  ”</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	高い評価を得た学生もおり、その点ではある程度目標は達成されたが、全体としては7割。						
反省点	基礎力不足の学生については指導が行き渡らなかった。						
来年度の計画	基本的な例題、演習をより増やし広範囲のレベルの学生に対応する。						
授業評価アンケートに対するコメント	演習の時間帯に疑問点などを解決して欲しい。						
履修登録者数	15名	受験者数	11名	合格者数	11名	合格率	#VALUE!